学校番号	T3036

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	３単位	年次	４年次
使用教科書	歴史総合　新訂版　むすびつく世界と日本（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１８世紀から現在までの近現代史の変化にかかわる諸事象について、「世界とその中の日本」を広く相互的な視野から捉える。
・現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解し、現代社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて考察、構想する。
・文献・絵図・遺物・遺構・地図・統計など歴史学習に関わる様々な性格の資料を有効的に活用し、社会的事象を一面的ではなく、様々な角度から捉える。

2　学習の到達目標

（１）近現代の歴史を「近代化」「大衆化」「グローバル化」の３つの観点に着目し、国際関係から社会の編成、日常生活の具体的な姿や生産のあり方の中から世界と日本の歴史的つながりを考察する力を養う。
（２）歴史的概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を培う。
（３）諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を養うとともに、歴史に関わる事象について考察、構想したことを効果的に説明し、それをもとに議論する力を培う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広い視野から捉え、現代社会の諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から読み取れる様々な情報を整理し、まとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義などを時期や年代、推移、比較、相互の関連性や現在とのつながりなどに着目し、歴史的概念を活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題解決を視野に入れて考察・構想する力や考察・構想したことを説明したり、議論することができる。	よりよい社会の実現を視野に入れて、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、近現代の歴史の変化に関わる諸事象から我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	近代化への胎動	・江戸時代の外交方針から当時の対外関係を学ぶ。 ・江戸幕府の統治のしくみを理解する。 ・欧米列強が日本に接近してきた背景を理解する。	a:江戸幕府の具体的な政策内容を理解することができる。 b:江戸幕府の外交方針を対外関係と絡めて説明することができる。 C:日本が江戸時代の頃の世界の動きに関心を持ち、相互的に捉えようとしている。	考査 小テスト	考査 ワーク シート	パフォーマンス課題
	欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	・産業革命がもたらした影響を考察する。 ・フランス革命をはじめ、欧米の市民革命がおこった背景とその影響を理解・考察する。 ・日本が開国を決意した理由を理解し、江戸幕府が滅亡し、日本がめざした姿を考察する。	a:欧米の市民革命の流れを理解することができる。 b:産業革命の波及が世界各地にどのような影響を与えたのかを説明することができる。 c:産業革命や市民革命によって世界各国の支配体制がこれまでとどのように変化したのかを考えようとしている。	考査 小テスト	考査 ワーク シート	パフォーマンス課題
	欧米諸国と日本の国民国家形成	・国民国家形成の背景を理解し、その影響を考察する。 ・明治政府がめざした日本とは何かを考察する。 ・日本の立憲体制の形成を理解する。	a:日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定を基に、立憲体制と国民国家の形成を理解することができる。 b:アジア諸国と他の国を比較し、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを考察している。 c:国民国家の形成によって当時の人々にどのような影響があったのかを考えようとし、現在と比較しようとしている。	考査 小テスト	考査 ワーク シート	パフォーマンス課題

	帝国主義の時代	・列強の進出と植民地の形成、日清戦争・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 ・帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響を考察する。	a:列強が植民地の獲得に乗り出した背景を理解することができる。 b:日清戦争・日露戦争によって日本国内の社会がどのように変容したのかを考察することができる。 c:日露戦争後の日本に対する各国の評価を、諸資料を用いて考えようとしている。	考査 小テスト	考査 ワーク シート	パフォーマンス課題
後期	第一次世界大戦と大衆社会	・第一次世界大戦の展開、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向を基に総力戦と第一次関大戦後の国際協調体制を理解する。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上や大正デモクラシー、大量消費社会と大衆文化などを基に大衆社会の形成を理解する。 ・第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響を考察する。	a:第一次世界大戦の流れとソヴィエト連邦の成立過程を理解することができる。 b:大戦後の社会の変容と社会運動との関連を考察することができる。 c:当時の大衆化社会は現在とどのような違いがあるのかということを文化的側面などから考えようとしている。	考査 小テスト	考査 ワーク シート	パフォーマンス課題
	経済危機と第二次世界大戦	・世界恐慌・ファシズムの伸長・日本の対外政策を基に国際協調体制の動揺を理解する。 ・第二次世界大戦の展開、大戦後の国際経済体制の始まりを理解する。 ・経済危機の背景と影響を考察する。 ・第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活を考察する。	a:世界恐慌がおこった背景を理解することができる。 b:ファシズム諸国の形成を考察し、日本の対外政策の背景を考察する。 c: 第二次世界大戦が与えた影響を国内と世界各地で比較しながら、戦争の惨禍を理解し、戦争が起きない社会について考えることができる。	考査 小テスト	考査 ワーク シート	パフォーマンス課題

	冷戦と脱植民地化	・冷戦の展開と、アジアやアフリカ諸地域の独立について理解する。 ・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響について考察する。 ・日本の高度経済成長の背景とその影響について理解・考察する。	a:冷戦の展開を理解し、その裏でのアジア・アフリカ諸地域の独立について理解することができる。 b:地域紛争の背景や冷戦の世界各国に対する影響、日本の高度経済成長の背景と影響について考察することができる。 c:高度経済成長が国民や社会に与えた影響について、諸資料を用いて考えようとしている。	考査 小テスト	考査 ワークシート	パフォーマンス課題
	多極化する世界	・第三世界の台頭とソヴィエト連邦の崩壊について理解する。 ・米ソ二大国主導の世界から国際秩序がどのように変容したのかを考察する。	a:ソヴィエト政権の崩壊の課程を理解することができる。 b:米ソの動向が冷戦の終結にどのように関わったのかということを考察することができる。 c:冷戦の終結によって世界各国がどのように変化したのかを考え、我々が生きる現代社会にどのように関わっているのかを考えようとしている。	考査 小テスト	考査 ワークシート	パフォーマンス課題
	グローバル化と現代世界	・冷戦終結後の国際秩序について理解する。 ・市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを考察する。	a:民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応について理解することができる。 b:アジア諸地域の経済発展の背景、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響について考察することができる。 c:市場経済のグローバル化について、身近な例を用いてその展開を説明し、我々の生活とのかかわりについて考えようとしている。	考査 小テスト	考査 ワークシート	パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度